

台風8号の接近に伴う前線による大雨における
寒河江ダム・白川ダム・長井ダムの効果について～ 長井ダムは流入量及び調節量が
管理移行後最大値を記録しました ～

最上川ダム統合管理事務所管内では、台風8号の接近に伴う前線による大雨により、平成26年7月9日～10日、寒河江ダム、白川ダム、長井ダムにおいて防災操作（洪水調節）を実施し、下流河川の水位低減に効果を発揮しました。

	最大流入量	ダムに貯めた量
・寒河江ダム	526m ³ /s	308m ³ /s
・白川ダム	212m ³ /s	14m ³ /s
・長井ダム	406m ³ /s	327m ³ /s

この防災操作により、寒河江ダムの下流河川で0.6m、白川ダムの下流河川で0.1m、長井ダムの下流河川で1.3m、水位を低減させる効果があったものと推測されます。

数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。

【発表記者会：山形県政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158

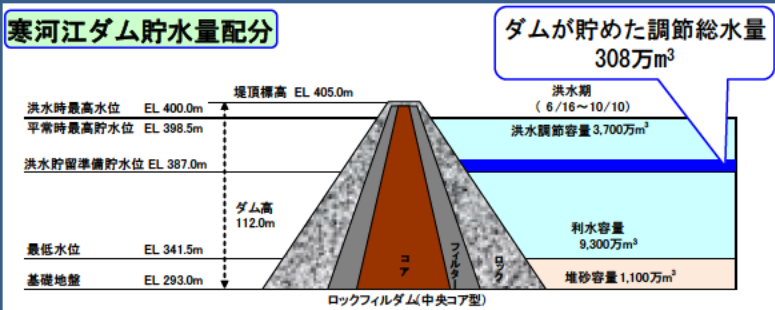
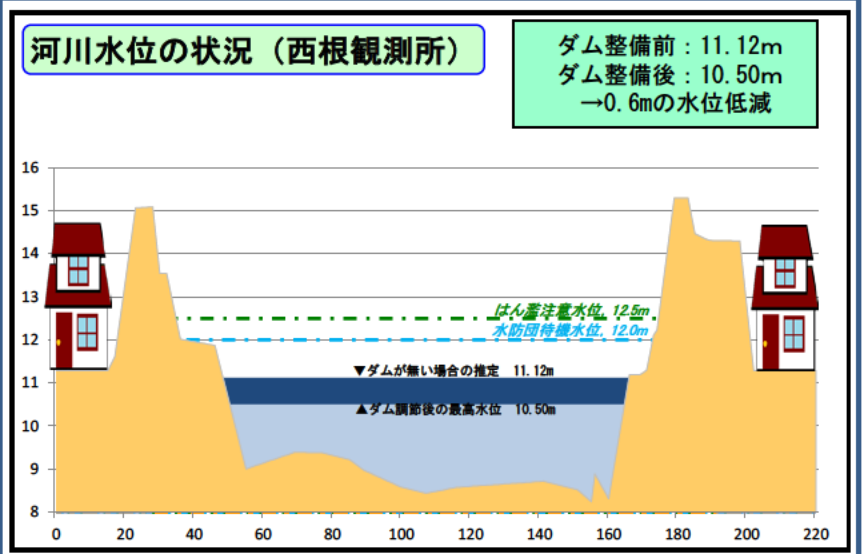
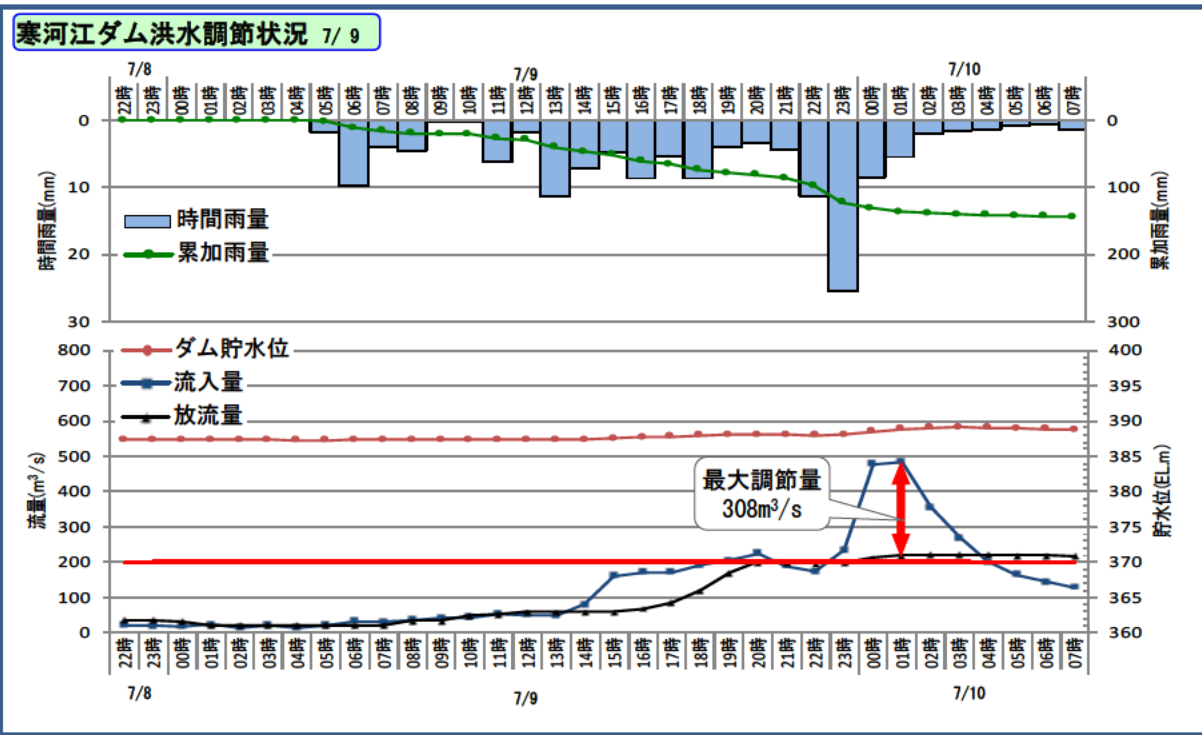
副所長（技術） 高橋 長幸 （内線204）

調査課長 高橋 正志 （内線351）

電話 0237-75-2311（代表）

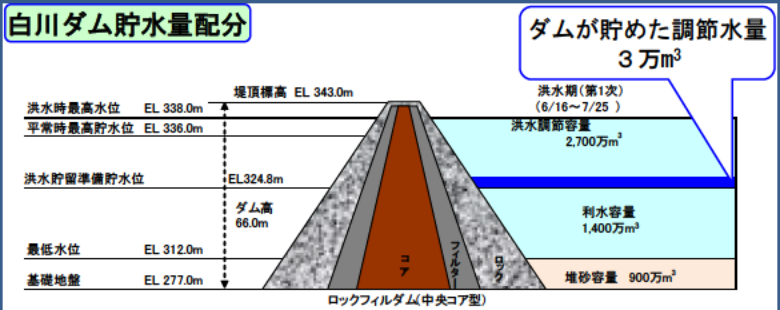
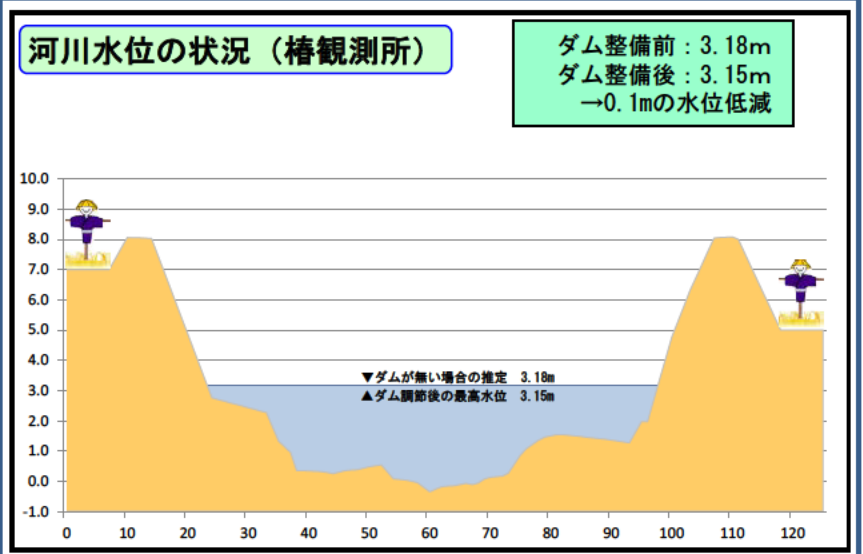
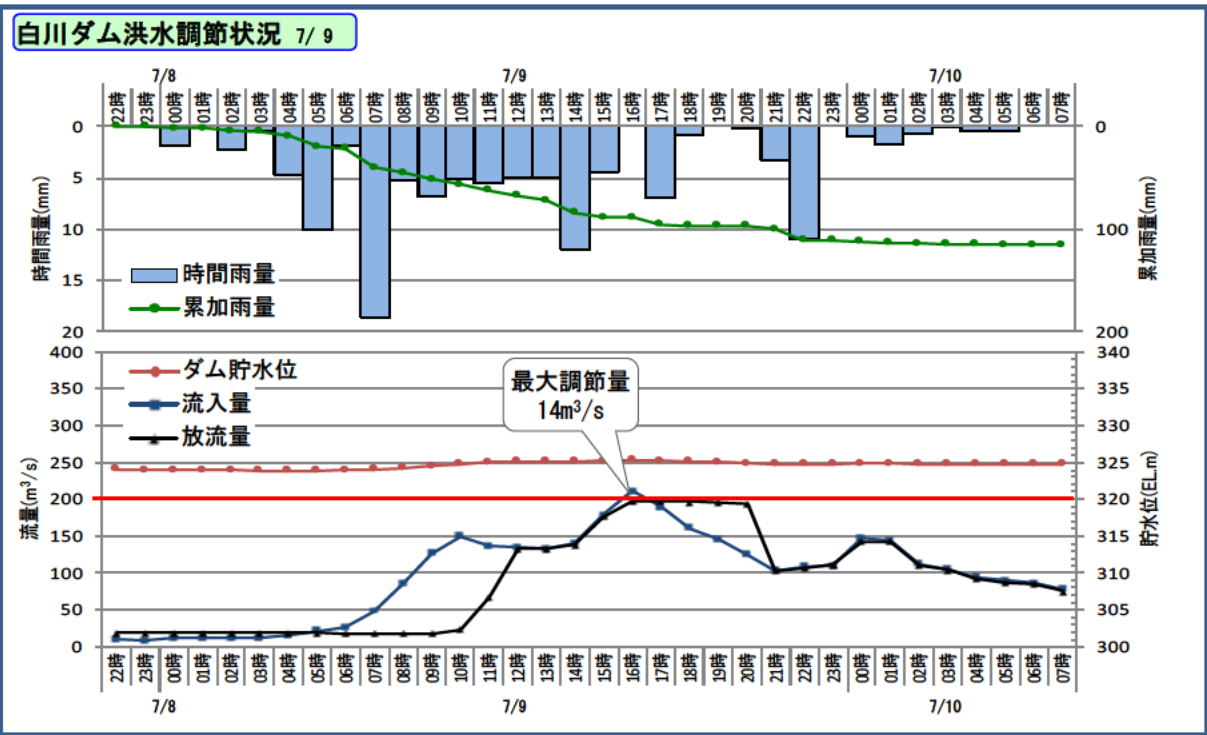
最上川水系 寒河江ダムの効果（平成26年7月9日～10日台風8号に伴う降雨）

○寒河江ダム上流域において、流域平均累加雨量は144mm、最大流入量は毎秒526立方メートルとなりました。
 ○今回の洪水期間中において、最大308万m³（山形県庁を容器とすると23杯分）の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。※山形県庁の容量：13.2万m³
 ○ダム下流の西根地点（寒河江川下流基準地点）では、0.6mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。



最上川水系 白川ダムの効果 (平成26年7月9日~10日台風8号に伴う降雨)

- 白川ダム上流域において、流域平均累加雨量は115mm、最大流入量は1秒間に212立方メートルとなりました。
- 今回の洪水期間中において、最大3万m³の水を貯留し下流の洪水被害の軽減を図りました。
- ダム下流の樁地点（置賜白川下流基準地点）では、0.1mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。



最上川水系 長井ダムの効果 (平成26年7月9日~10日台風8号に伴う降雨)

○長井ダムにおいて、流域平均累加雨量は235mm、最大流入量は毎秒406立方メートルで、管理移行後最大の流入量となりました。
 ○今回の洪水期間中において、最大211万m³ (山形県庁を容器とすると16杯分)の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。※山形県庁の容量: 13.2万m³
 ○ダム下流の谷地橋地点 (置賜野川下流基準地点) では、1.3mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

